



# 豊地っ子だより

～ かしこく やさしく たくましく ～

No. 5 三木市立豊地小学校

<http://www.miki.ed.jp/el/toyoti/>

## 人と人とのつながり

新型コロナウイルス感染症と共存する社会のあり方が模索されています。

4月から5月末日までの臨時休校中では自宅学習となりました。本校では、子どもたちに「学び方」を身に付けさせることを目的に学習計画や目標を提示いたしました。学習後にはふりかえり活動をさせることで、「どんなことを学び取れたか。」「どこができていなかったか。」などを考えさせました。学習内容を理解して習得することは、学習活動の基礎基本となりますが、「学び方」を身に付けさせることも大切であると考えます。そのことを強く実感した臨時休校となりました。

また、いつ終息するか分からない新型コロナウイルス感染症と共存していくことが求められる時代となりました。学校では朝の会や終わりの会、体育の学習などで保健指導を行っています。マスクの着用、手洗いの励行、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染症への感染予防に努めながら、教育活動を推進しています。

先日、PTA 施設部事業で小島邸の墓地清掃を行いました。蒸し暑い中でしたが早朝より PTA 施設部の方々、本部役員の皆様方と教職員で墓地の清掃作業を行いました。墓地に向かう道、墓地には草が生い茂っており、草刈り機で作業を行い、草を取り除いていきました。墓石に傷がつかないように墓石周辺は鎌を使って除草をしていきました。最後には墓石や六地藏菩薩がはっきりと見えるようになり、小島様のご先祖様も喜んでくださっているだろうと感じました。

墓地清掃が始まった経緯は、小島様のご先祖様が次代を担う子どもたちのために土地の一部を寄付いただいたことで豊地小学校が開校することができるようになったことだと聞いております。歴代の PTA 役員の皆様方がその経緯を知り、事業が継続されております。本年度も無事に終わることができ、清掃作業に携わっていただいた PTA 役員の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

昨今、新型コロナウイルス感染症への予防策として、ソーシャルディスタンスの確保が必要不可欠となっております。人と人の物理的な距離は確保しなければなりません。人と人の心のつながりは忘れてはならないことです。先日、ホームページにも掲載いたしました4年生では、総合的な学習の時間に福祉教育の一環として花を育て、デイサービスセンター細川に持って行くことで高齢者の方々に観賞いただき、花の命を育てることを通して高齢者の方々とふれあうことを目的にして学習を進めています。このように、人と人がつながる大切さを知り、豊かな心を育む学習を発達段階に即して本校では系統的に行っています。

機会があればご家庭でもこの墓地清掃の活動の話をしていただきたいと思います。地域の先人のおかげで、小学校が開校され、友だちと仲良く楽しく勉強や運動ができていることを知ることで、先人との心のつながりが芽生えてくるのではないかと考えます。そのことが郷土を誇りに思える子どもの育成にもつながっていくと考えます。

10月には親子人権学習を予定しております。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校長 善村 龍昭